

園 長 だ よ り

○縦のつながり

年長組が、年少組さんに今やっていること。朝、くつばこで年少さんに上履きの履き方を教える。「スーピタ」（下履きをくつばこにスーと入れてピタッと揃える）を教える。それから、2階の教室までエスコートする。

朝の時間、一緒に「ほとけの子」の歌を歌う。シール帳のシール貼りを教える。

いうことを聞かなく泣いている子どももいる。その時は、じっと待つ。「待つこと」は、心を強くする。

年長組は幼稚園の最高学年である。「たんぼぼ組さんのために、がんばりたい。」

「自分たちもたんぼぼの時、年長さんにお世話になった。」子どもたちは、「頼りにされる」「人から喜ばれる」ことで、自尊感情を高め、それが自信につながる。

○年少組たんぼぼ通信 「遊びの中で」から

泣きそうなK君の前でブロックを繋げながら「たのしいね」「たのしいね」とS君。「幼稚園ってたのしいねー」とK君のことを励ましているように感じました。ついこの前まで大泣きしていたS君なので、K君の気持ちが分かるのでしょうか…。K君は返事をしてくれませんでした。横にいたN君が「ねー」「たのしいね」と答えてくれました。とても微笑ましい時間でした。

(みちる先生)

これからの求められる人材像は「支え合う、繋がり合う」そういう人間関係を創れる人とされています。幼稚園で、その原型を創りたいと思います。

